

一般会計予算案への 各会派の意見

一般会計予算を審議する際に行った討論(各会派を代表して、その案件に対する賛成・反対の意見を表明すること)をご紹介します。

物価高騰の中、市民の暮らしを守る年度途中の補正予算対応も

原案可決



日本共産党
橋本 由美子

2024年度予算も、この先数年の市税収入も「ふるさと納税」の影響はあっても、個人・法人市民税等増収方向です。4月からもさらに3000品目の値上げなど物価高騰で、多くの市民も中小業者も厳しい暮らしの実態です。最終日の補正予算で「学校給食無償化」の予算が付けられたように、市民の暮らしを守るための施策を具体化することが必要です。

プラン」「総合治水対策方針」等、市民参画を基本にして見直しや策定が進められようとしています。自治基本条例に加えられた「協創」を具体化するためにも、市民、行政、議会が前向きに協力して多摩市のまちづくりを進めることが重要です。

自治体の仕事は住民の福祉の増進を図ること

自治体の仕事は「住民の福祉の増進を図ること」ですが、実際の仕事は、正規職員を上回る人数の会計年度任用職員(非正規)が支えています。低賃金、不安定雇用への一層の配慮が必要です。民間委託化増大や自治体DX推進は、専門知識の低下や市民不在につながる危険もあります。市民に信頼される市役所であり続けることを強く求めたいと考えます。

市民の声いかり環境・防災・健康守る対策を

2024年度は、「手話言語条例」「歯と口の健康を推進する条例」がつくられ、「都市計画マスタープラン」「交通マスタープラン」「住宅マスター

予算は市民への希望のメッセージ、果敢に挑む多摩市へ

原案可決



公明党
池田 けい子

食品ロス対策mottECO容器の作成、手話言語条例の制定、ABC検査・胃の内視鏡検査の拡充、公共施設へWi-Fi設置などの新規事業については評価します。しかし、たま広報の予算の主な事業や歳入歳出の内訳等の記載については、誤解を招かないよう見直しを求めます。また長年放置している鶴牧倉庫、活用未定の旧西落合中学校跡地や旧南永山小学校跡地など、大切な市民の共有財産を放置しておくことの損失も明らかにすべきです。

Space」の設置、東京都の事業との合わせ技で注目されている「こども誰でも通園事業」など、子育て支援や子ども支援に力を入れ、「未来に向けた大きな一歩を踏み出す」という意気込みを感じます。スムーズな事業運営となるよう期待します。

平和事業・災害対策は安心へのメッセージ

平和展・子ども被爆地派遣事業は、戦争の残酷さとともに平和の尊さを次世代に伝える、多摩市の大切な事業です。平和事業の充実とさらなる展開が望まれます。

災害時、「在宅避難」の重要性が高まる中、住宅の耐震化やトイレ対策など市民への周知啓発が求められます。自然災害から市民を守るため、防災・備災に具体的かつ本格的に取り組むよう要望します。

「子どもまんなか」は未来へのメッセージ

産後ケア・児童手当の拡充、不登校対策のチャレンジクラス「あたご

有言実行で着実に課題解決を！

原案可決



自民党
松田 だいすけ

代表質問に際して施政方針を聞きましたが、予算説明のような内容であったので特に目新しく、面白さのあるものではありませんでしたが、今まで議会に対して説明してきたことでもあり、今回の予算についてはその施政方針の内容をしっかりと実行に移すものと好意的に捉えておこうと思います。

しかしながら、我が会派が以前から予算決算において指摘してきた部分について、特にシティセールスなどについて

改善すると言いつつもいまだに手をつけていないものも少なからずあったかと思います。しっかりと実行に移すということはまさにこういうことを一つずつ改善していく事です。これから先も幾度となく伺うことになるかと思いますが同じことにならないようお願いしたいと思います。そして我が会派が予算決算だけでなく今回の代表質問でも触れた子ども施策、産後ケアなどに関しては特段の配慮をもってお願いしたいと思います。

今回は各論についてここであらためて申し上げませんが、以上のことを確実にお願いし賛成の討論とさせていただきます。

